～学校から保護者の皆様へ～

津市立北立誠小学校

北立誠小学校 学校だより

第15号

2018年9月28日

学校教育目標「やる気いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱい」

全国学力・学習状況調査の結果【速報版】

本年度、6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査（以下「学調」という）の本年度の本校の結果の概要（国語・算数・理科）は、以下の表のとおりです。

各教科及び質問紙調査の分析を行った結果【詳細版】は、後日、改めて報告させていただきます。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
本校	大きく上回る	大きく上回る	大きく上回る	大きく上回る	上回る
全国平均正答率	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
三重県平均正答率	70	54	63	50	59

【全国平均との比較において、5ポイント以上上回る場合は「大きく上回る」としています。】

主として「知識」に関する問題「A」とは、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能です。

主として「活用」に関する問題「B」とは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力です。

全国学力・学習状況調査結果【問題別調査結果分析】

○国語A 主として知識

12問のうち全問、本校の正答率（以下、「本校」という）が、全国の正答率（以下、「全国」という）を上回りました。「学問別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う（8ア～8オ）」問題は全国より5～12ポイント上回り、「文の中における主語と述語との関係などに注意して、正しく文を書く（5）」問題も「全国」を13ポイント上回りました。

無回答率は12問中11問が「全国」を上回りました（本校の無回答率が、全国の無回答率より下回ったことを意味します）。

○国語B 主として活用

8問のうち7問は「本校」は「全国」を上回りました。中でも、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む（3ニ）」問題は18ポイント、「目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書く（2ニ）」問題は11ポイント上回りました。

無回答率は、全問とも「本校」は「全国」を上回り、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む（3ニ）」問題の無回答率は「全国」の約1/4でした。

○算数A 主として知識

14問のうち12問は「本校」が「全国」を上回りました。中でも、「除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している(1(1))」かを問う設問が17ポイント上回ったのははじめ、4問が10ポイント以上上回りました。「全国」と同程度であったのは「十進法取り計数法で表された数の大小について理解している(3)」かを問う設問と「直径の長さと同周の長さの関係について理解している(7(2))」かを問う設問でした。

無回答率はいずれの問題も0~1ポイントで、14問中12問が「全国」を上回りました。

○算数B 主として技能

10問のうち全問とも「本校」が「全国」を上回りました。中でも、「図形の構成要素や性質を基に、集まった各の大きさの和が 360° になっていることを記述できる(1(2))」問題は16ポイント、「折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関係付け根拠を明確にして記述する(5(1))」問題は14ポイント、それぞれ「全国」を上回りました。

無回答率は、10問中7問が「全国」を上回りました。中でも、「折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関係付け根拠を明確にして記述する(5(1))」問題は「全国」の1/2以下でした。

○理科

16問のうち14問は「本校」が「全国」を上回りました。中でも、「太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる(3(4))」問題は18ポイント、「ろ過の適切な方法を身に付けている(4(1))」かを問う設問は16ポイント、「実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考え方に改善できる(3(3))」かを問う設問は15ポイント、それぞれ「全国」を上回りました。「全国」と同程度であったのは「安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる(1(1))」かを問う設問でした。また、「全国」を下回ったのは「人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる(1(4))」かを問う設問でした。

無回答率は、16問中13問が「全国」を上回り、12問は本校の無回答率は0でした。

児童質問紙において、家庭での学習状況を尋ねており、質問11「家で、学校の宿題をしていますか」は、本校は全員が「している」「どちらかといえば、している」と回答しています。質問12「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」では、「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合は、60.8%と全国とほぼ同じですが、「全くしていない」と回答した割合は全国が10.0%に対し、本校17.6%と高い割合でした。

また、質問14「学校での授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか」に対しては、「1時間以上」と回答した割合は全国を上回り、「全くしない」と回答した割合は全国を下回りました。

家庭学習のあり方については、年度当初に「家庭学習の手引き」を配布したところですが、月曜日の家庭学習の日の内容を含め、必要に応じて家庭学習の内容や量を含めた見直しを図りながら、子どもたちの学力を高める取組をさら進めたいと思います。

今後とも、ご家庭のご支援をお願いします。